

人生会議をしてみよう！

11月30日(いい看取り・いい看取られ)は人生会議の日

●問い合わせ

ふくし課 内線129

知っていますか？

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危機が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めることや、望みを人に伝えることができなくなると言われています。

人生会議ってなんだろう？

人生会議とはACP(アドバンス・ケア・プランニング)の愛称。もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームなど、信頼する人たちと繰り返し話し合い、共有する取組みのことです。



自分らしい未来を過ごすためのわたしのこれからノート

自分の考えを整理し、信頼する人たちとの話し合いのきっかけとなる手段として、自分らしい未来を過ごすための「わたしのこれからノート」を配布しています！

内容はどんなことを書くの？

- ①「わたし」のことについて
…名前、生年月日、緊急連絡先、かかりつけ医など基本情報
- ②わたしの「もしものとき」について
…医療や介護、葬儀に関する希望
- ③わたしの「これまでとこれから」について
…大切にしていることや、この先やってみたいことなど

いつ書くの？

いつでも、何歳からでも構いません！何度でも書き直して大丈夫です。「もしもの」ことを元気なうちから考えておくことで、「もしもの」ときに慌てず、後悔しない選択ができるかもしれません。

実際に
使ってみよう！

配布
場所

ふくし課、町高齢者相談支援
センター、町ホームページ



認知症^{おも}の方の想いをきこう！

認知症講座

認知症になっても自分らしく、

将来に希望を持って暮らすためにはどうすべきか

認知症は誰にも起こりうる脳の病気であり、2025年には、65歳以上の高齢者の約5人に1人が認知症になると言われています。「認知症の方やその家族を含めた多くの方に元気を与えたい」という思いから「認知症になっても自分らしく、将来に希望を持って暮らすためにはどうすべきか」を考えます。

と き 12月4日⑧ 午後1時～3時

ところ 福祉センター

● 内 容

- ・第1部 認知症の基礎理解
- ・第2部 講演
認知症とともに希望を持って生きる
～認知症になっても

「あんき」に暮らすために～

- ・第3部 交流会

● 講 師



愛知県認知症
希望大使
内田 豊蔵氏



愛知県
作業療法士会
萬屋 京典氏

参加費
無料

● 定 員 40名(先着順)

※オンライン(通信費は自己負担)での参加も可能

● 共 催 町、町社会福祉協議会

● その他 会場へ来場した方に特典をプレゼント！

● 申込み

会場・オンラインともに11月25日(金)までに電話またはメールで問い合わせ先へ

※メールの場合は本文に認知症講座受講希望として、氏名、連絡先を記入

● 問い合わせ

町社会福祉協議会 ☎84-3741

✉ h-syakyo@ma.medias.ne.jp



もしものための話し合い もしバナゲーム

カードゲーム方式で、大切にしたい価値観や自分の考えを整理することができます。人生の最期をどう在りたいか。でも、なんとなく縁起でもないからという理由で、避けてはいないでしょうか。このカードを使えば、そんな難しい話題を考えたり話し合うことができます。



引用:iACP もしバナゲーム
公式ホームページから抜粋

もしバナゲーム



さいごに ～1番大切なこと～

重要なのは、信頼する大切な人たちと繰り返し話し合うことです。

これからの人生をどう生きたいかを考え、生きていくうえで大切にしたい価値観や自分の考えを整理して、信頼する人たちと話してみましょう！